

アーカイブ機能アップデートマニュアル

<Linux - PostgreSQL 版>

1. はじめに.....	1
2. 注意事項.....	1
3. アップデート前の準備について.....	2
3-1. サーバーへのログイン.....	2
3-2. コンソール画面の起動 (XWindow システムご利用の場合).....	3
3-3. コンソール画面の起動 (テキストモードでログインしている場合).....	3
3-4. アップデートツールの準備.....	4
4. アーカイブ機能のアップデート (PostgreSQL 版).....	5
4-1. 弊社サイトからダウンロードした場合のアップデート.....	5
4-2. 製品メディアからのアップデート.....	8
5. アップデート後の確認事項.....	12
5-1. サーバーの設定日時について.....	12

1. はじめに

本説明書は、株式会社 NI コンサルティング社（以下、弊社）開発の「NI コラボ」、「顧客創造日報 for WEB」、「顧客深耕日報 for WEB」、「顧客創造日報 Type-R」、「顧客深耕日報 Type-R」、「顧客深耕日報 AO」、「可視化日報」及び「見積共有管理」（以下、弊社製品）のデータを対象とした、アーカイブ機能のアップデート手順に関するマニュアルです。一連の作業の流れと注意点を説明しておりますので、アップデート作業のトラブルを避ける為にも必ず手順に従い、内容をご確認ください。

2. 注意事項

アーカイブ機能の製品動作の変更点を説明します。

変更日	内容
2009年4月20日	NI コラボのメールデータにおきまして、アーカイブ可能なメールサイズの上限を 30MB と設定しました。メールサイズが 30MB を超えるメールデータはアーカイブできません。アーカイブ出来ないメールデータは製品のメール保存機能を利用してください。
2009年9月28日	顧客深耕日報、顧客創造日報、顧客深耕日報 AO 製品のバージョンアップに伴い、アーカイブツールの機能を更新しております。
2009年12月17日	顧客深耕日報、顧客創造日報、顧客深耕日報 AO 製品のバージョンアップに伴い、アーカイブツールの機能を更新しております。
2010年2月22日	NI コラボのメールデータを移動する場合に、検索条件内のメールの一部が移動できない問題の修繕対応を行っております。
2010年7月26日	NI コラボのメール機能のレスポンス改善にともない更新を行っております。
2010年8月23日	見積共有管理の登録機能の改善にともない更新を行っております。
2011年3月22日	SQLServer2008R2 をご利用のお客様に対応いたしました。 ※PostgreSQL 版をご利用のお客様はバージョン番号の更新のみ行っております。
2012年2月27日	中国語等が含まれるメール情報のアーカイブを実施できるように機能改善を行いました。
2012年4月23日	閲覧制限のかかった顧客名および案件名をアスタリスクで隠す設定を行っている場合、閲覧可能な情報についても閲覧ができない問題を修繕しております。
2012年5月28日	データの保守を重視するためにリカバリ後に自動的にアーカイブサイトを削除する機能を廃止しました。アーカイブサイトを削除される場合は、必要な情報が運用サイトに存在していることを確認の上、削除していただくようお願いいたします。
2012年7月23日	アーカイブ一覧の画面上部に、アーカイブ実行結果一覧へのリンク付き告知を表示するように改善しました。
2012年8月27日	アーカイブの Java VM のメモリの初期値を、256MB から 1024MB に変更しました。また、エラー発生時、[削除ボタン][追加ボタン]を表示せず、[リカバリボタン]のみを表示するように仕様変更を行いました。
2013年3月25日	アーカイブの新規作成、追加、リカバリの各詳細設定画面に、バックアップ処理中やサーバー最適化中を避け、製品を利用していない時間帯にアーカイブを実行するように注意事項を追加しました。

3. アップデート前の準備について

3-1. サーバーへのログイン

サーバー管理者 (root) のユーザーにて直接ログインしてください。
 アップデート作業はすべてこのサーバー管理者 (root) で実行してください。

テキストモードでログインする場合

1. サーバーの電源を入れ、「(ホスト名) login:」の表示まで待ちます。
2. **root** と入力して **Enter** を押してください。
3. サーバー管理者 (root) のパスワードを入力して **Enter** を押してください。
4. `[root@xxxxx root]# _` となればログイン完了です。

```
login: root
Password:
Last login Fri Jun 13 20:00:00 on tty1
You have new mail
[root@XXXXXXXX root]# _
```

ログイン完了

一般ユーザーからサーバー管理者 (root) に変更する場合

※ リモート接続など、直接サーバー管理者 (root) でログインできない場合のみ、ご利用ください。

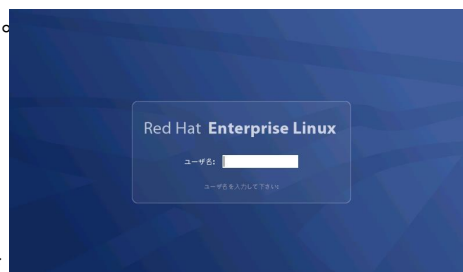
1. 一般ユーザーでログインします。
2. **su -l** と入力して **Enter** を押してください。(※英小文字エス、ユー、半角スペース、半角ハイフン、英小文字エル)
3. サーバー管理者 (root) のパスワードを入力して **Enter** を押してください。
4. `[root@xxxxx root]# _` となればログイン完了です。

```
[users@XXXXXXXX root]# su -l [Enter キー]
Password:
[root@XXXXXXXX root]# _
```

ログイン完了

XWindow でログインする場合

1. サーバーの電源を入れ、右図の画面が表示されるまで待ちます。
2. **root** と入力して **Enter** を押してください。
3. パスワードを入力する画面に切り替わったら、サーバー管理者 (root) のパスワードを入力して **Enter** を押してください。
4. パスワードの認証が完了し、デスクトップの画面が表示されればログイン完了です。



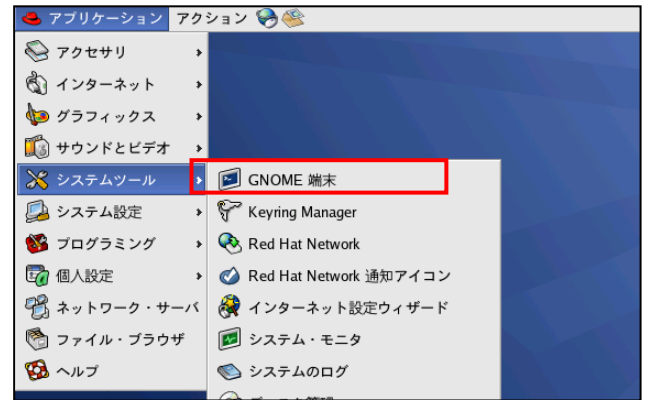
Ex).RedhatEnterpriseLinux 4

3-2. コンソール画面の起動 (XWindow システムご利用の場合)

Xwindow システムよりコマンド入力を行う場合に
必要となるコンソール画面の起動方法の手順になります。
※テキストモードでログインした場合は飛ばしてください。

画面左上の「アプリケーション」を選択し、
「システムツール」⇒「GNOME 端末」と選択します。

※お使いのディストリビュート(OS)やバージョンの
違いによりターミナルの名称が異なる場合が
ございます。Ex) GNOME 用ターミナルエミュレータ



3-3. コンソール画面の起動 (テキストモードでログインしている場合)

コンソール画面上で表示される日本語に文字化けが起こる場合には、以下のコマンドを実行してください。

Red Hat 系の場合

kon と入力して **Enter** を押してください。

Turbo Linux 系の場合

miniuni と入力して **Enter** を押してください。

※リモートコンソールで接続している場合など、日本語が正しく表示される状態であれば、この作業は必要ありません。

以下のように画面が切り替わります。

```
KONZ Kanji On Console ver.0.3.9 (2000/04/09) using VT number 1
Copyright (C) 1993-2000 Takashi MANABE
1993, 1994 MAEDA Atusi

[root@XXXXXXXX root]# _
```

※画面は「kon」を起動した場合。

3-4. アップデートツールの準備

<アップデートツールを弊社サイトからダウンロードする場合>

弊社製品がインストールされているサーバーから外部接続が可能な場合に、本ツールをダウンロードすることができます。下記の手順に従ってアップデートツールを準備して下さい。外部接続が不可能な場合は、<製品メディアから実施する場合>を参照してください。

1. Linux サーバー上の **/tmp** ディレクトリに移動します。

cd /tmp と入力して **Enter** を押してください。

```
[root@XXXXXXXX root]# cd /tmp
[root@XXXXXXXX tmp]#_
```

2. 弊社ダウンロードサイトより実行プログラムをダウンロードします。

wget http://202.212.47.113/download/archive/84009130325/pgsql/niarchivesetup.tar.gz

と入力し **Enter** を押してください。ダウンロードに成功した場合、インジケータが 100% と表示されます。

※インターネットに接続できない場合、実行コマンドを間違えた場合、インジケータは表示されません。

実行コマンドをもう一度確認していただき、再度実施してください。

```
[root@XXXtmp]#
wget http://202.212.47.113/download/archive/84009130325/pgsql/niarchivesetup.tar.gz
--09:38:19-- http://202.212.47.113/download/archive/84009130325/pgsql/niarchivesetup.tar.gz
=> `niarchivesetup.gz'
202.212.47.113:80 に接続しています... 接続しました。
HTTP による接続要求を送信しました、応答を待っています... 200 OK

100%[=====]

12:00:00 (500.95 KB/s) - `niarchivesetup.tar.gz.1' saved [4,113/4,113]

[root@XXXXXXXX tmp]#_
```

3. ダウンロードしたファイルを解凍します。

tar xzf /tmp/niarchivesetup.tar.gz と入力して **Enter** を押してください。

```
[root@XXXXXXXX tmp]# tar xzf /tmp/niarchivesetup.tar.gz
[root@XXXXXXXX tmp]#_
```

4. P5 の『4-1. 弊社サイトからダウンロードした場合のアップデート』の手順に進んでください。

<製品メディアから実施する場合>

1. 弊社製品のアップデートメディアをご利用の場合、別紙『製品アップデートマニュアル』にある『3-3. CD-ROM のマウント』の説明に沿って、アップデートツールの準備をして下さい。
2. P8 の『4-2. 製品メディアからのアップデート』の手順に進んでください。

4. アーカイブ機能のアップデート (PostgreSQL 版)

アーカイブ機能をアップデートするにあたり、セットアッププログラムの起動からアップデートまでの一連の流れを記載しております。記載内容をよくご確認の上、作業を実施してください。

4-1. 弊社サイトからダウンロードした場合のアップデート



アーカイブ機能のアップデートは、弊社製品のアップデートが完了した後に行ってください。
また、WEB サーバーとデータベースサーバーを分割して運用されている場合は、必ず先に WEB サーバーからアーカイブツールのアップデートを行ってください。

1. セットアッププログラムの実行

`/tmp/niarchivesetup.sh` と入力して `Enter` を押してください。

2. セットアップメニューが表示されるので、`[1]` と入力し、`Enter` を押してください。
中止する場合は `[Q]` を入力し、`Enter` を押してください。

```

_/_/_/_/_/_/_/ セットアップメニュー _/_/_/_/_/_/_/
1.NI 製品アーカイブツール インストール・アップデート
2.PostgreSQL 文字コードライブラリの更新
  
```

Q. セットアップの中止

セットアップを開始する番号を入力して `Enter` を押してください。

3. セットアップ対象とサーバーが、`[●]`: 選択中、`[]`: 未選択として表示されます。デフォルトでは両方とも選択中になっておりますので、**通常はそのまま `Enter` を押して次へ進んでください。**
※WEB サーバーとデータベースサーバーを分割して運用されている場合は、アップデート対象となる項目のみを選択中にして `Enter` を押して次へ進んでください。

```

_/_/_/_/_/_/_/ 実行環境の確認 _/_/_/_/_/_/_/
  
```

現在作業中のサーバーは以下のいずれの用途で運用されていますか？

- `[●]` 0. WEB サーバー
`[●]` 1. DB サーバー

説明 `[●]` : 選択中
`[]` : 未選択

※通常はそのまま `Enter` を押して次へ進んでください。

番号を入力して `Enter` を押すと選択状態が切り替わります。
番号 (0 - 1) / `Enter`: 選択終了 / `Q`: 中止 :

4. アップデート前の確認画面が表示されるので、**Enter**を押して次へ進んでください。

```

_/_/_/_/_/_/_/_/ アップデートの確認 _/_/_/_/_/_/_/_/

```

アーカイブツールをアップデートします。

アップデートを開始します。よろしいですか？

[Y]: 実行 / O: アップデートの中止 :

5. アップデートが開始され、アップデート状況が表示されます。
「アーカイブツールのアップデートが完了しました。製品のシステム設定画面から操作してください」のメッセージが表示されましたら、アーカイブツールのアップデートは完了です。

```

アーカイブモジュールをアップデート中です...      [ OK ]
+-----+
| アーカイブツールのアップデートが完了しました。 |
| 製品のシステム設定画面から操作してください。 |
+-----+

```

6. 続けて[7]の PostgreSQL 文字コードライブラリの更新が自動で起動します。
[Y または y]と入力し、[Enter]を押してください。
中止する場合は[Q または q]と入力し、[Enter]を押してください。
※本処理は DB サーバー用の更新になりますので、WEB サーバーの場合は処理が中止します。

```

_/_/_/_/_/_/_/_/ 実施の確認 _/_/_/_/_/_/_/_/_/

```

PostgreSQL 文字コードライブラリの更新を実施します。
更新作業中は PostgreSQL を停止します。
そのため、弊社製品に一時的にアクセスできなくなります。
実施する場合「Y または y」を入力し Enter キーを押下してください。

[Y または y]:実施 / [Q または q]:中止 :

7. PostgreSQL ライブラリの更新が開始され、作業状況が表示されます。
「PostgreSQL ライブラリの更新が完了しました。セットアップメニューに戻ります。」のメッセージが表示されましたら、アーカイブツールのインストールは完了です。

```
[2012-01-15 14:34] postgresql-8.1.11 をコンパイルしています...
[2012-01-15 14:35] postgresql-8.1.11 のコンパイルが完了しました。
[2012-01-15 14:35] PostgreSQL を起動します...
[2012-01-15 14:35] PostgreSQL を起動しました。
[2012-01-15 14:35] PostgreSQL ライブラリの更新を確認しています...
[2012-01-15 14:35] PostgreSQL ライブラリの更新の確認が完了しました。
[2012-01-15 14:35] PostgreSQL ライブラリの更新のバージョン情報を登録しました。
[2012-01-15 14:35] 作業用ディレクトリを削除しています...
[2012-01-15 14:35] 作業用ディレクトリの削除が完了しました。
_/_/_/_/_/_/_/_/_/_ 更新完了 _/_/_/_/_/_/_/_/_/_

PostgreSQL ライブラリの更新が完了しました。

セットアップメニューに戻ります。

--- Enter を押して下さい ---
```

8. 以上で、アーカイブツールのアップデートは完了です。
セットアップメニューに戻ったら、[Q]を入力し、**Enter**を押してセットアッププログラムを終了させます。

以上で、アーカイブ機能のアップデートは完了となります。



アーカイブツールをアップデート済で PostgreSQL 文字コードライブラリの更新がされていない場合は、個別に PostgreSQL 文字コードライブラリの更新を実施してください。
文字コードライブラリの更新状況については弊社製品のシステム設定画面「サーバー環境」をご確認ください。

4-2. 製品メディアからのアップデート



アーカイブ機能のアップデートは、弊社製品のアップデートが完了した後に行ってください。

WEB サーバーとデータベースサーバーを分割して運用されている場合は、
WEB サーバー、データベースサーバーの順番にアーカイブツールのアップデートを行ってください。

1. セットアッププログラムの実行
/mnt/cdrom/niaddsetup.sh と入力して、[Enter]キーを押してください。
2. セットアップ開始画面が表示されるので、セットアップを開始する場合はそのまま[Enter]を押してください。
中止する場合は[N]を入力し、[Enter]を押してください。

株式会社 NI コンサルティング (<http://www.ni-consul.co.jp/>)

追加セットアップを開始します。(nisetup.sh v4.1.6)
よろしいですか？ ([Y]/N) :

3. セットアップメニューが表示されるので、[4]と入力し、[Enter]を押してください。
中止する場合は[Q]を入力し、[Enter]を押してください。

//////////////////// セットアップメニュー //////////////////////

1. NI 製品インストール (NI コラボ、顧客創造日報、顧客深耕日報 ...他)
2. NI 製品バックアップ設定
3. NI SSH Server インストール (OpenSSH)
4. NI 製品アーカイブツール インストール・アップデート
5. リモートコンサルティングセンサー インストール
6. PostgreSQL 文字コードライブラリの更新

0. インストールファイルの削除

セットアップを開始する番号を入力して[Enter]を押してください。
番号(0 - 6) / Enter: 選択終了 / Q: セットアップの終了 : 4

4. セットアップ対象とサーバーが、:選択中、:未選択として表示されます。デフォルトでは両方とも選択中になっておりますので、通常はそのまま[Enter]を押して次へ進んでください。
 ※WEB サーバーとデータベースサーバーを分割して運用されている場合は、インストール対象となる項目のみを選択中にして[Enter]を押して次へ進んでください。

//////////////////// 実行環境の確認 //////////////////////

現在作業中のサーバーは以下のいずれの用途で運用されていますか？

0. WEB サーバー

1. DB サーバー

説明 : 選択中

: 未選択

※通常はそのまま Enter を押して次へ進んでください。

番号を入力して Enter を押すと選択状態が切り替わります。

番号(0-1) / Enter: 選択終了 / Q: 中止 :

5. インストール前の確認画面が表示されるので、Enter を押して次へ進んでください。

//////////////////// インストール情報の確認 //////////////////////

アーカイブツールをアップデートします。

アップデートを開始します。よろしいですか？

[Y]: 実行 / Q: インストールの中止 :

6. インストールが開始され、インストール状況が表示されます。
 「アーカイブツールのインストールが完了しました。製品のシステム設定画面から操作してください」のメッセージが表示されましたら、アーカイブツールのインストールは完了です。

```

Java ランタイム(JRE)をインストール中です... [ OK ]
アーカイブモジュールをインストール中です... [ OK ]
アーカイブのバージョンを更新中です... [ OK ]
+-----+
| アーカイブツールのインストールが完了しました。 |
| |
| 製品のシステム設定画面から操作してください。 |
+-----+
  
```

7. 続けて[7]の PostgreSQL 文字コードライブラリの更新が自動で起動します。[Y または y]と入力し、[Enter]を押してください。
 中止する場合は[Q または q]と入力し、[Enter]を押してください。
 ※本処理は DB サーバー用の更新になりますので、WEB サーバーの場合は処理が中止します。

```

////////// 実施の確認 //////////

PostgreSQL 文字コードライブラリの更新を実施します。
更新作業中は PostgreSQL を停止します。
そのため、弊社製品に一時的にアクセスできなくなります。
実施する場合「Y または y」を入力し Enter キーを押下してください。

[Y または y]:実施 / [Q または q]:中止 :
  
```

8. PostgreSQL ライブラリの更新が開始され、作業状況が表示されます。
 「PostgreSQL ライブラリの更新が完了しました。セットアップメニューに戻ります。」のメッセージが表示されましたら、アーカイブツールのインストールは完了です。

```

[2012-01-15 14:34] postgresql-8.1.11 をコンパイルしています...
[2012-01-15 14:35] postgresql-8.1.11 のコンパイルが完了しました。
[2012-01-15 14:35] PostgreSQL を起動します...
[2012-01-15 14:35] PostgreSQL を起動しました。
[2012-01-15 14:35] PostgreSQL ライブラリの更新を確認しています...
[2012-01-15 14:35] PostgreSQL ライブラリの更新の確認が完了しました。
[2012-01-15 14:35] PostgreSQL ライブラリの更新のバージョン情報を登録しました。
[2012-01-15 14:35] 作業用ディレクトリを削除しています...
[2012-01-15 14:35] 作業用ディレクトリの削除が完了しました。
////////// 更新完了 //////////

PostgreSQL ライブラリの更新が完了しました。

セットアップメニューに戻ります。

--- Enter を押して下さい ---
  
```

9. 以上で、アーカイブツールのインストールは完了です。
 セットアップメニューに戻ったら、[Q]を入力し、[Enter]を押してセットアッププログラムを終了させます。



手順④で「WEB サーバー」または「DB サーバー」を選択した場合は、残りのサーバーに対しても、アーカイブツールのアップデートを実施してください。

アーカイブツールをインストール済で PostgreSQL 文字コードライブラリの更新がされていない場合は、個別に PostgreSQL 文字コードライブラリの更新を実施してください。

10. 次に定期実行システムをインストールします。
 詳しい手順については別紙『システム設定マニュアル』の“運用管理”の章の「定期実行設定」ページをご参照ください。

システム設定 基本設定 セキュリティ NIコラボ 経営CompasScope 顧客深耕TypeR 顧客創造	
アクセスログ ユーザーサポート連携設定 オンラインアップデート オンラインアップデートログ プロキシ設定 ライセンス情報 アーカイブ設定 アーカイブサイトへのログイン設定 アーカイブツールのダウンロード 管理者パスワード設定 サーバー環境 定期実行設定 郵便番号設定 <hr/> ユーザーサポート <hr/> ライセンス追加やお問合わせ についてはこちら 管理者ページ	<h3>定期実行設定</h3> <p>運用管理 > 定期実行設定</p> <p>■インストーラーをダウンロードします。</p> <p>定期実行システムとは、一般的にはバッチ処理システムと呼ばれる一定間隔で、一括で処理を行なう方式を指します。 利用頻度の高い時間帯には実行できないような負荷の高い処理を、夜間など、利用頻度の低い時間帯に自動で実行することができます。</p> <p><input type="button" value="ダウンロード"/></p> <p>※お使いのOSのバージョンによっては設定の変更が必要な場合があります。 詳しくは弊社製品の『システム設定マニュアル』の“運用管理”の章をご確認ください。</p>

5. アップデート後の確認事項

5-1. サーバーの設定日時について

サーバーの設定日時を確認してください。

サーバー管理者 (root) ユーザーで、以下のコマンドを実行します。

1. サーバーの設定日時を確認します。
date と入力して [Enter] を押してください。

```
[root@NISFA ~]# date
2009 年  2 月 24 日 火曜日 18:15:18 JST
```

2. サーバーの設定日時を変更します。
date MMDDhhmmYYYY ※と入力して [Enter] を押してください。

```
前回実行日時
[root@NISFA ~]# date 081312002009
2009 年  8 月 13 日 木曜日 12:00:00 JST
```

※MMDDhhmmYYYY は月・日・時間・分・年の略です。
設定例) 2009 年 8 月 13 日 12 時 00 分とする場合は、date 081312002009 と入力してください。



[Web サーバーとデータベースサーバーを分割して運用されている場合]
サーバー間で 10 分以上時間差がある場合、アーカイブ設定画面に注意メッセージが表示されます。
また、アーカイブの設定ボタン(「アーカイブ新規作成」「追加」「リカバリ」)が表示されません。

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

○ 発行

2013年3月25日

第10版

株式会社 **NI**コンサルティング

サポートデスク

E-mail : support@ni-consul.co.jp Fax : 082-511-2226

営業時間 : 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00 (当社休業日、土・日・祝日を除く)